

第14回牧水・短歌甲子園開催要項

【目的】

郷土の歌人若山牧水を顕彰するとともに、高校生の自己表現力の向上を図り、文化の振興に寄与する。

【開催期日】

令和6年8月17日（土） 入場行進 9：20 開会式 9：30 終了 17：30
18日（日） 開会 9：00 講評・閉会式 11：10 終了 13：00

【会場】 日向市中央公民館（宮崎県日向市中町1番31号）

【主催】 日向市・日向市教育委員会・日向若山牧水顕彰会

【主管】 牧水・短歌甲子園実行委員会

【協賛】 ホテルベルフォート日向

【後援】 宮崎県・宮崎県教育委員会・公益財団法人宮崎県観光協会・宮崎県高等学校文化連盟・宮崎日日新聞社・朝日新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・西日本新聞社・夕刊デイリー新聞社・NHK宮崎放送局・MR T宮崎放送・UMKテレビ宮崎・エフエム宮崎・ケーブルメディアワイワイ・FMひゅうが・角川『短歌』編集部・全国牧水顕彰会

【内容】

◇全国の高校生を対象に行います。

（団体戦）

◇本選に出場できるのは、1校あたり1チームとし、1チームは選手3人・引率1人の4人とします。

※ただし、予選への申し込みが12チームを下回った場合はこれに限りません。

※予選には1校から何チームでも申し込みできます。

◇昨年度の優勝校については、予選を免除し出場を認めます。

1 予選

◇予選は郵送または電子メールにより提出された作品で行います。

◇投稿用紙に選手3人の未発表自作短歌を1人1首、各校合計3首を記入して提出してください。（題は自由です。）

◇予選通過の12校（昨年度の優勝校を含む）を決定して、6月中旬をめどに、各学
校長に通知します。

◇応募締切りは令和6年5月27日（月）※必着

◇出場申込書と投稿用紙を、実行委員会事務局宛に郵便または電子メールでお送り下さい。（様式は日向市のホームページからもダウンロードできます。）

※メール送信の場合、受付確認メールを送りますので、3日以内に返信がない場合は早急に事務局にご確認ください。（メールサーバの不具合などトラブル防止のため）

2 本選：1次リーグ

◇定められた3つの題のうち、こちらが指定した2つの題の作品を事前に提出してい

ただきます。題は、予選結果の通知の際にお知らせします。

- ◇投稿用紙に選手3人の未発表自作短歌を、各自2つの題について各1首ずつ計6首記入して提出してください。
- ◇1次リーグ以降、やむを得ない理由により選手に欠員が生じる場合は、選手の交代を認めます。ただし、すでに提出した作品の変更はできません。
- ◇提出締切りは令和6年7月16日(火) ※必着
- ◇競技は、12チームが3チームずつのブロックに分かれ、リーグ戦で行われます。
- ◇組み合わせは、事前に、主催者において行います。
- ◇対戦する2チームがステージ上で各作品を発表、自作短歌に込めた想いをアピールしたり、相手チームの短歌について質問や意見を述べます。
※事前に全選手の作品を各学校にお知らせします。
- ◇各ブロック1位のチームが決勝トーナメントに進むことができます。

3 決勝トーナメント

- ◇準決勝は、「定められた題」について、決勝は「自由題」について、一次リーグの題詠と同様、令和6年7月16日(火)(※必着)までに提出していただきます。(決勝の「自由題」は予選で提出したもので可)

4 審査

- ◇審査は、主催者が依頼した審査員(別記)が行います。
- ◇競技の審査は、作品の出来に加え、対戦でのやり取りにおける感性や自己表現力、アピール力なども加味されます。
- ◇1試合につき3名の審査員が審査し、旗の数で勝敗を決定します。
- ◇1次リーグにおいて、ブロック内で1勝1敗が2チームあった場合は、旗の総数で勝敗を決めます。(旗の総数が同じ場合は、審査員の判定により決定します。)

5 表彰

- ◇優勝・準優勝・3位のチームを表彰します。

(個人戦)

- ◇参加できるのは、団体戦に出場する選手のみです。
- ◇投稿用紙に未発表自作短歌を1人1首記入して提出してください。(題は自由です。)
- ◇作品は無記名で大会会場内に掲示され、大会関係者を含めた一般観覧者が自由に投票します。
- ◇得票数の一番多かった作品を牧水賞として表彰します。

(作品賞)

- ◇提出されたすべての作品から、若山牧水記念文学館長でもある審査員長が選んだ作品を若山牧水記念文学館長賞として表彰します。
- ◇各審査員、日向若山牧水顕彰会長、牧水・短歌甲子園実行委員会会長、OBOG会みなどが選んだ作品をそれぞれ表彰します。

(特別賞)

- ◇大会期間をとおして、試合で優れた朗読や発表を行った個人1名を審査員が選び、パフォーマンス賞として表彰します。

【出場費用】

- ◇出場料無料

(交通費)

◇かかった経費（選手3名分、引率1名分）の9割に対し、地域ごとに定めた限度額を主催者が負担します。（10円未満切り捨て）

[宮崎県内]

1チームあたり1万円を限度に負担します。

[宮崎県外（離島を除く九州内）]

1チームあたり4万円を限度に負担します。

[その他]

1チームあたり12万円を限度に負担します。

注：経費の確認は、領収証等の提出により行います。

(宿泊費)

◇17日(土)の宿泊は、主催者が負担します。（宿泊先等は主催者にお任せください。）

(食費)

◇17日(土)の昼・夕食、18日(日)の朝・昼食は主催者が負担します。

【大会スケジュール】

8月17日（土）	9：00	出場者集合
	9：00～ 9：20	事前説明
	9：20～10：00	開会行事・審査員紹介
	10：00～17：30	1次リーグ
	18：00～20：00	交流会
8月18日（日）	8：30	出場者集合
	8：30～ 9：00	事前説明
	9：00～ 9：20	1次リーグ講評・審査員紹介
	9：20～11：10	準決勝・決勝
	11：10～13：00	講評・表彰・閉会式

【審査員】

◇伊藤 一彦（審査員長）

1943年宮崎県出身。歌人。若山牧水記念文学館長。歌集に『海号の歌』（読売文学賞）、『新月の蜜』（寺山修司短歌賞）、『微笑の空』（迢空賞）、『月の夜声』（斎藤茂吉短歌文学賞）、『土と人と星』（現代短歌大賞・毎日芸術賞）、『遠音よし遠見よし』（詩歌文学館賞）、エッセイ集「歌が照らす」、編著に「若山牧水歌集」、俳優の堺雅人との対談集『ぼく、牧水！』ほか。旭日小綬章受章。

◇俵 万智

1962年大阪府出身。歌人。歌集に『サラダ記念日』（現代歌人協会賞）、『チョコレート革命』、『プーさんの鼻』（若山牧水賞）、『未来のサイズ』（詩歌文学館賞・迢空賞）など。評論『愛する源氏物語』（紫式部文学賞）、評伝『牧水の恋』（宮日出版文化賞特別大賞）、『青の国、うたの国』他。最終歌集は『アボカドの種』。2021年度朝日賞受賞。紫綬褒章受章。読売歌壇選者。

◇大口 玲子

1969年東京都出身。歌人。歌集に『海量』（現代歌人協会賞）、『東北』（前川佐美雄賞）、『ひたかみ』（葛原妙子賞）、『トリサンナイト』（芸術選奨新人賞・若山牧水賞）、『桜の木にのぼる人』（宮日出版文化賞）、歌文集に『神のパズル』。最新歌集に『自由』。宮日文芸選者。NHK宮崎放送局「わけもん短歌」選者。

◇笹 公人

1975年東京都出身。歌人。歌誌「未来」選者。2022年度「NHK短歌」選者。歌集に『念力家族』（NHK Eテレにて連続ドラマ化）、『念力図鑑』、『抒情の奇妙な冒険』、『終楽章』など。他に、『ハナモゲラ和歌の誘惑』、『念力レストラン』、絵本『へんなあさ』、『なっとうくんのぼうけん』、北村みなみとの共著『パラレル百景』、俵万智、吉田尚記との共編著『アイドル歌会公式歌集 I』、『NHK短歌シン・短歌入門』など。

【応募先】

〒883-8555 宮崎県日向市本町10番5号
日向市教育委員会 スポーツ・文化振興課内 牧水・短歌甲子園実行委員会事務局
TEL 0982-66-1038 FAX 0982-54-2189
E-mail bokutan@hyugacity.jp

【昨年の大会の様子】（YouTube「牧水・短歌甲子園」公式チャンネルにて公開中）



第13回大会優勝・東京都立武蔵高等学校チーム(後列)
準優勝・宮崎県立大宮高等学校(前列)

ご応募お待ちしております！！

若山牧水のふるさと日向市

